



## No 131. ペったん×ぺったん To モグモグ

12/26(火) 餅つき

今年最後の行事。掛け声とつき手の息が重要な餅つきは日本のお正月や祝い事に、縁起を担ぐ文化行事ではないでしょうか。

長年やってこられた施設長監修の元、「石臼の中で蒸した米を潰しこねる」これが一番大切で大変だそうで監修から「腕に力入れてー」「腰を入れてー」と声が掛けられていました。餅つきは利用者の皆さんからの「ぺったん×ぺったん」周りからの「よいっしょ×よいしょ」というリズムカルな声援で、つき手も気合いが入り「よーし」と杵を持ち上げていました。また体力に自信がない方への配慮として室内でできる餅つきも準備しました。こちらも大人気！順番でついていたいただき、全員参加の餅つきとなりました。



ついた餅はそのままOPカフェへ。つきたては「やわやわ」「のびのび」「うまうま」とうまく言い表せないくらいです。「砂糖醤油の組み合わせがまた最高です！」とみなさん笑顔で食べられていました。



みんなで餅をついて、食べることができ、2024年を無事迎えることができればと思います。





## No 132. 無病息災を祈る

1/9(火) 鬼火焚き

新年明けましておめでとうございます。

「鬼火焚き」とは、無病息災を祈る天草伝統行事の一つです。

潜伏キリシタンの多かった天草では、キリスト教徒であることを隠すため1年中正月飾りをしておく風習があることから、去年飾った正月飾りを夜明け前から持ち寄り、竹やぐらで燃やしたと言われています。

施設でも毎年実施し、昼食にも七草がゆを食べ、鬼火焚きの煙を浴び、残り火で焼いた餅を無病息災を祈りつつおいしくいただきました。昼食の後でしたが2つ3つペロリと食べる方もおられたようです。利用者の皆さんにとって年始の行事。

おいしく楽しくお祈りされていました。



## ① 苓山寮 男性 ② 苓山寮 男性 ③ GHカナン 女性

①の方は苓山寮内でいつも明るくニコニコ顔。牛深地区では夏の成人式。黒のスーツとピカピカの革靴で参加され、同級生との再会では緊張されながらも楽しそうにされていました。

近況は事務所によく来られ、字の読み書きの勉強をされています。少しずつ漢字も覚えられています。



②の方は1/3天草市の式へ参加。髪の毛をセットし、青色のネクタイがまだ窮屈（慣れない）に見えますが「カッコイイ」と言うと、照れくさそうな顔をされていました。成人の職員（女性）と「一緒に写真撮ったよ」と教えて下さいました。

近況は椎茸作業を頑張っておられ、沢山収穫があった時は「いりませんか？」と作業の大変さも分かってこられました。

③の方は1/6支援学校にて成人式がありました。朝早くから美容室にて着付けとメイク、ヘアセットをしてもらい、華やかな大人の女性の姿で、式に参加されました。最初は緊張もあり恥ずかしがりながらも、久しぶりのお友達、先生方に囲まれ、話も弾みとても楽しかった様です。

夕食は、カナンにて世話人さんの手料理でお祝いでした。お酒で乾杯し、顔を真っ赤にされながら、皆からおめでとうと言われると少し照れくさそうに「ありがとう」と言われてました。



それぞれ成人を迎えられ目標への思い、家族への思い等あるようです。私生活や仕事等と共に充実した日々が送れるよう支援したいと思います。

## No 134. 産業医の役割 = 利用者の安心・安全な生活



1/17 (水) 産業医講話

講師：菊陽あきたクリニック医院長 飽田和博氏

3年程中止になっていた産業医講話が実施できました。

今まで「メタボリック」「腰痛」「喫煙」「飲酒」「高齢者」等人が生きていく上で直面している様々な課題を中心に講話していただきました。

今回は「産業医の役割について」の演題で、苓山寮・第二苓山寮・GH・第二天草学園30名の職員が受講しました。環境整備アンケートで「産業医に相談をする際の申請方法等が分からない」と意見が多かったため衛生委員会と産業医で講話題材が決まったようです。

1 事業所の雇用職員が50名以上は、設置義務のある産業医の役割は、「職員が健康で快適な職場環境の下で仕事ができるよう専門的な立場から指導・助言を行うこと」です。施設では衛生・保健委員会と連携し、携わっていただいています。職員の健康診断やストレスチェックの結果を元に相談がある職員は相談面接を受けることができます。委員会では2次検診者や高ストレス者が減るよう産業医にアドバイスを受け、アンケートの実施や木になるBOX（意見箱）の設置、資料（研修時の）配布等様々な環境整備を実施しています。面接時の申請方法、相談内容、守秘義務、事業所側への報告（本人の意志を確認後）等面接の詳細等を分かりやすく教えていただきました。

30分程の講話でしたが質疑等もあり有意義な時間になったと思います。

気軽に産業医と面接ができる＝上司や同僚とも話し合える＝明るい職場＝職員の資質向上＝楽しい利用者の施設生活に繋がると思いました。





前半はメンタルヘルス推進者講習を受講した職員から報告がありました。

①ケアの意義と重要性②1次（未然に防ぐ）2次（早期発見）3次（復帰支援）の予防策③セルフ、ライン、事業所内スタッフ、事業所外資源による4つのケアがあり、施設でも衛生委員会を中心にしっかり実施、周知しています。「自分の健康は自分で守る」このセルフケアがまず大事で、自分にしか分からない「ストレス度」「自分の発散法」「相談者がいる、いない」ストレスが溜まった場合にこの3つで自身をケアできるのか？考えてみるいい機会となりました。

後半は身体拘束適正化研修、検討事項（事例）を基にA～F班に分かれグループワークをしました。1つの事例をこれは身体拘束では？当てはまらないか？5～6人で協議しました。支援員側からの意見や質問、対応、思い。利用者目線からのニーズや興味、背景等を議論しました。勿論これだという正解はないのかもしれませんが、嫌がる方に対しどう対応すべきか、どう接するべきか、どう伝えれば分かってもらえるのか。この思いが利用者の皆さんに少しでも伝わればと自分の意見を言いました。

各班から発表があり意見を聞くと、こんな対応もこんな意見もあるのかと、1人、1班では考えつかない意見もありました。班で意見はまとめましたが他職員のちょっとした思いも聞くことができたグループワークとなりました。

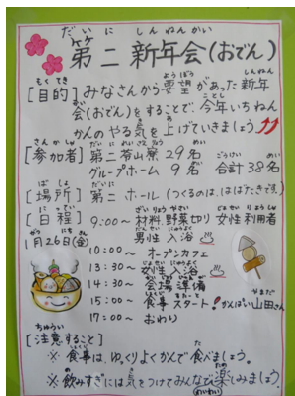
この協議内容を支援へ繋げられればと思います。



← メンタルヘルス  
研修報告の様子

A班グループワーク  
の様子 →





ビール、コーラ、ファンタ、お茶等好きな飲み物を片手に「カンパイ」副施設長の挨拶で新年会がスタート。職員の家直伝のおでんが利用者の皆さんへ振る舞われました。



大根（しみしみ）、ちくわ、たまご、まるてん、がんもどき、厚揚げ、もつ、具だくさんのおでんが大鍋に2つ！両手一杯30袋分の締めちゃんぽんにデザートにあんまん。こんなに誰が食べるんですか？と聞こえてきそうな程準備しました。

「よ〜くしみこんでておいしか〜」「おかわり〜」「体が温まる〜」とみなさんの声がだんだん大きくなってきたように思えました。熱々おでんによく冷えたビール、焼酎をくいと一杯。おでん2大鍋もペロリ、ちゃんぽんもペロリ、あんまんもペロリ、元気もおなかもいっぱい笑顔がみられました。



今年もみなさんが健康で楽しく笑って楽しく生活していただけるよう、施設行事を計画して行きます。



No 137.

ご迷惑おかけしています

2/2（金）よりコロナ発症

2/2苓山寮で利用者の方2名にコロナが発症いたしました。

早急なゾーニング、発症者、濃厚接触者への対応、検査等いたしておりますが、その後ポツポツと5名の利用者の方にコロナが発症しております。現時点での最終コロナ対応解除予定日は2/15(木) AMの検温にて判断させていただく予定です。全力で対応しようと思っております。

全国ではコロナ第10波と称されてますし、合わせてインフルエンザも流行している様です。コロナは第5類になったとはいえ、まだまだ福祉事業関係へ及ぼす影響は何も変わってないよう思います。

発症された利用者の方、ご家族の皆様、関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけしています。施設でできる予防対策、発症した場合の早急な対応等決められたことをしっかり実施し、利用者の皆さんの楽しい生活スペースの確保へ努めていきます。



← ゾーニング対応



↑ 職員室での必要物資管理



← 非発症者への対応

No 138.

見に来てくれてありがとう

2/16（金）利用者個展



余暇の時間、利用者の皆さんにはテレビや音楽鑑賞等好きに過ごしていただいています。その中で手先が器用な方達は絵を描いたり、編み物をしたり、製作中はとても集中されています。

今回たくさんの作品を作られた方の個展が開かれました。（担当職員案）1日貸し切った部屋にはいっぱい作品が貼られ、置かれ、飾られていました。利用者の皆さん、各職員入れ替わり立ち替わり来場者が押し寄せてきます。作者本人も来場者の質問に「ここが苦勞しました。ここに時間が掛かりました。」等とても嬉しそうな顔で作品の説明をされていました。

今回初めて個展として、一人の利用者の方の作品を施設内ですが見ていただくことができました。とても喜ばれていましたし、他利用者の皆さんの製作意欲も高まってくるのではと思います。他にもスポーツが好きな方、歌が好きな方、それぞれ得意なことが違うのも個性だと思います。

その個性が生かせるよう支援の工夫が問われると思います。







No 139.

笑顔 × 笑顔 = 地域福祉

2/27 (火) 亀川小学校椎茸駒打ち体験

亀川小学校とは交流会や福祉説明会等を通し、障がい者の施設生活、社会や地域との関わり、施設サービス等について障がい者福祉事業に触れてもらっています。今回その1つとして、毎年小学校5年生を対象に椎茸の駒打ち体験をしてもらいました。

実習地へ2クラスの児童を迎え、椎茸の作業現場、収穫までの年間作業手順、本日の駒打ち体験を説明し、実施しました。利用者の皆さんもとても楽しみにされていて、初めて体験する児童に少し得意気にアドバイスをされていました。児童の皆さんも少しずつコツを掴むと数十人の駒を打つ音がトントントントン実習地の山に響き渡っていました。

年間を通し、同学年の児童と3回ふれあいを実施してありますが、回を重ねる毎に緊張感も取れ、会話も弾んできてるように感じています。利用者の皆さんの笑顔、児童の皆さんの笑顔で今後の地域福祉が笑顔にあふれればと思います。



## No 140. 能登半島地震災害ボランティアへ参加して



2/24～3/3 石川県能登半島ボランティア

熊本県災害福祉チーム（DWAT）の派遣により、苓山寮の職員1名が石川県へボランティア参加致しました。「できることをしたい」との思いだけで、何もかも分からないままの参加希望でしたが、担当者による入念な班ミーティングがオンラインで出発までに数回あり、安心して石川県へ向かうことができたようです。

**体験者談**：金沢市内に設置された1.5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）にてボランティアに励みました。避難所にはまだまだ300人弱の方々が避難されており、熊本DWATチームはボランティアにいられた方達の受付や会場の環境整備を任せられ、約10日間他メンバーと協力して頑張りました。1日あった休日には輪島市へ視察に行き、災害の大きさを目の当たりにしてきました。胸を締め付けられた思いでした。このDWATチームに参加できた体験は皆さんに報告していきたいです。



苓山寮からは3月16日から1名、更に4月にも1名参加する予定です。一人ひとりの力は微力ではありますが、施設としては希望する職員を全力でサポートし、石川の復興に少しでもお役に立てるよう協力してまいります。

